

## 図書館情報システムのリプレースについて

### 1 概要

現行の図書館情報システムは、令和4年1月から導入し、令和8年12月末でリース契約終了となる。機器やサーバの更新、システムのバージョンアップを図るとともに、多様化する利用者ニーズに対応するため、中央図書館休館中の期間を利用して、システムのリプレースを実施する。

### 2 リプレースの方向性・変更点

#### (1) ICTサービスの導入

WebOPAC※を閲覧支援ツール「やさしいブラウザ」に対応させ、読み上げ、文字拡大、色調調整など、視覚障害者等の操作性を向上させるとともに、スマホ等での視認性を向上させる。

※WebOPAC…インターネット上の蔵書検索システム

#### (2) 機器・サーバの更新

機器・サーバの更新を行い、図書館情報システムの安定的な稼働を図る。

#### (3) システムのバージョンアップ

システムリプレース時にアップデートを行い、不具合の修正や新機能追加に対応する。また、今後は可能な限りアップデートを定期的に行っていく。

### 3 予算額（案）

72,723千円

（※令和8年度～13年度 総経費 329,385千円）

### 4 今後の予定

令和8年4月～

11月

11月

システム構築

機器・サーバ入替による全館休館（最短10日程度）

システム稼働